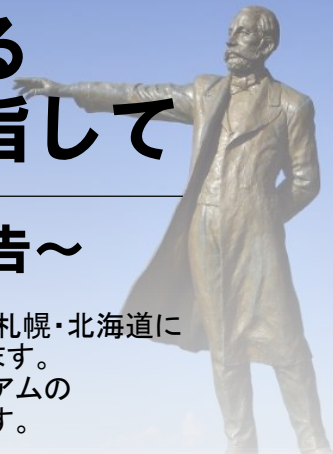


# 札幌・北海道における 先端技術の社会実装を目指して

## ～最新トレンドの紹介と事例報告～

札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム、およびSapporo AI Labでは札幌・北海道における先端技術の社会実装を目指し、様々な活動を行っています。今回はAIに関する最新のトレンドの解説とあわせて、コンソーシアムの活動の中でも特に地場企業の取組事例についてご紹介します。



日時

平成30年3月8日(木) 14:00～16:40

会場

インタークロス・クリエイティブセンター (ICC)  
クロスガーデン (札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1)

お申込み

<https://www.sec.or.jp/elecen/iot-conso/>  
定員100名、参加無料

### 14:00 開会・主催者挨拶

Sapporo AI Lab ラボ長 北海道大学大学院情報科学研究科 教授 川村 秀憲

### 14:10 基調講演：日本・世界に向けたAI技術の発信拠点としての札幌・北海道を目指して AI TOKYO LAB株式会社 AI HOKKAIDO LAB所長 土田 安紘 氏

同社が平成29年10月に開所したAI HOKKAIDO LABでは、AI開発のみならず、札幌・北海道におけるAI人材の育成・排出を目指した活動を行っています。今回は所長である土田様をお招きし、最新のAIに関するトレンドや、同社が取り組むAI人材の育成事業等についてご講演いただきます。



講師プロフィール

1977年 北海道勇払郡生まれ。  
2001年3月 北海道大学大学院修士課程修了。  
2001年4月 松下電気産業株式会社(現パナソニック(株))入社。NTTドコモ向け携帯電話のミドルウェア開発に従事した後、本社R&D部門にて幾つもの新規事業開発プロジェクトを主導。その後、米国シリコンバレーでの社内起業プロジェクトリーダーに抜擢され、2012年から2016年まで米国・日本市場向けのモバイルO2Oサービス事業を立ち上げ。帰国後は、パナソニック(株)とNTTコミュニケーションズ(株)の合同新規事業であるカメラシェアリングサービスPaNの事業立ち上げを主導。  
2017年10月 AI HOKKAIDO LAB所長就任。

### 14:40 事例報告：先端技術を活用したビジネスモデル構築プロセス事例 (ITイノベーション人材育成事業 事業報告)

札幌市では「ITイノベーション人材育成事業」として、先端技術を活用したビジネスを創出できる人材を育成するためのプロジェクトに対する経費補助、およびメンタリングによる支援を行っています。本セッションではその対象事業におけるビジネスモデル構築プロセスの事例について報告します。

システムアーツ株式会社 — 在庫監視AIクラウドサービス『Mr. Stock』のプロトタイプ開発  
株式会社調和技研 — 蓄積情報からの会話型知識提示エンジンの開発

休憩 (10分間)

株式会社サンクレエ — ドローン、赤外線カメラ、AIによるヒグマ・エゾシカの調査事業  
株式会社INDETAIL — ブロックチェーンを活用した地域通貨プラットフォームの開発

### 15:50 開発報告：札幌市コールセンターデータを活用したAIチャットボット開発 株式会社テクノフェイス

Sapporo AI Lab ではリーディングプロジェクトとして、札幌市コールセンターに蓄積された対応データをAIの学習データとして活用可能かどうかの検討、およびAI(固有表現抽出による言語解析)の試作を行っており、その成果物の一部について無償での公開を行う予定です。本セッションではその開発過程や成果物、および今後の展開の可能性について報告します。

### 16:20 札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアム / Sapporo AI Lab 活動状況報告とご案内

・コンソーシアムの活動状況、および関連する国施策や札幌市補助制度等のご紹介  
・AI勉強会やAI俳句などの各種プロジェクト、コーディネーション事例および今後の展開についてのご紹介